

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年 1月15日 9時00分～13時00分

出席委員：天谷委員長・入谷委員・小澤委員・中西委員・立花委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1	平成28年度春季の組織改正等	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	第3回男性が学ぶ女性安全対策カレッジの開催	生活安全部	
3	初詣に伴う雑踏警備の実施結果	地域部	
4	平成27年中における110番通報受理状況及び緊急配備結果		
5	平成27年中における犯罪被害者等110番即応システム運用状況	刑事部	
6	主要事件の発生		
7	刑法犯・本部重点犯罪の認知・検挙状況（平成27年1～12月）	交通部	
8	交通事故発生状況（平成27年中）		
9	陸上自衛隊第10師団との共同実動訓練の実施	警備部	
10	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成27年12月及び平成27年中）		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1	決裁 苦情及び公安委員会宛文書等の受理（22件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 激励の上申（2件）		
3	報告 愛知県監査委員事務局による随時監査の結果		監 査 官
4	報告 人事案件	警務部	警 務 課 長
5	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定		住 民 サ ー ビ ス 課 長
6	報告 監察案件		首 席 監 察 官
7	報告 平成27年度秋の業務監察実施結果		
8	報告 ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施	生活安全部	子ども女性安全対策課長
9	決裁 愛知県暴力団排除条例による勧告	刑事部	組 織 犯 罪 対 策 課 長
10	決裁 拡声機による暴騒音の規制に関する条例の一部改正	警備部	警 備 総 務 課 長
11	報告 警察職員の援助派遣		警 備 課 長
12	決定 聴聞等の実施結果・決定 68件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

平成28年度春季の組織改正等

警務部長から、
平成28年度春季の組織改正等
について報告があった。

(2) 生活安全部

第3回男性が学ぶ女性安全対策カレッジの開催

生活安全部長から、
「1月28日(木)午後1時30分から、愛知県産業労働センターウイंक
あいちにおいて、男性に働きかける啓発活動に着目し、企業の男性幹部社
員等を対象に、基調講演等を通じて女性を守る意識や規範意識を醸成する
ことで、性犯罪被害等の未然防止について社会全体の意識を高めることを
目的に、『第3回男性が学ぶ女性安全対策カレッジ』を開催する」
旨の報告があった。

また、生活安全部長から、
廃棄食品にかかる廃棄物処理法違反被疑事件の概要
について報告があった。

(3) 地域部

ア 初詣に伴う雑踏警備の実施結果

地域部長から、初詣に伴う雑踏警備の実施結果について、
「熱田神宮などにおいて雑踏警備を実施した結果、雑踏事故等の発

生はなく終了した」
旨の報告があった。

イ 平成27年中における110番通報受理状況及び緊急配備結果

地域部長から、平成27年中における110番通報受理状況及び緊急配備結果について、

「平成27年中の110番受理件数は前年より6,921件増加の673,058件で、一日平均は1,844件の受理であった。緊急配備等の配備件数は986件で、うち350件が検挙につながった」

旨の報告があった。

ウ 平成27年中におけるは犯罪被害者等110番即応システム運用状況

地域部長から、平成27年中におけるは犯罪被害者等110番即応システム運用状況について、

「平成27年中の犯罪被害者等110番即応システムの登録件数は2,923件で、システム登録により対応した通報は214件であった」

旨の報告があった。

委員から、

「児童虐待等への対応も、これまで以上に推進していただきたい」
旨の発言があった。

(4) 刑事部

ア 主要事件の発生

刑事部長から、

半田市内で発生の殺人・放火事件の概要
について報告があった。

イ 刑法犯・本部重点犯罪の認知・検挙状況（平成27年1～12月）

刑事部長から、平成27年1～12月における刑法犯・本部重点犯罪の認知・検挙状況について、

「認知件数を減少させ、検挙件数を増加させた」
旨の報告があった。

(5) 交通部

交通事故発生状況（平成27年中）

交通部長から、平成27年中の交通事故発生状況について、

「交通事故死者数は、平成27年中213人で前年に比べ9人増加した。

交通死亡事故の主な特徴としては、

高齢者被害に係る事故が多発

自転車乗用中の死者が増加

交差点で多発

である。

平成28年中における取組方針は、

地域の交通情勢を踏まえたきめ細かな交通死亡事故抑止対策の
推進

人優先の交通安全思想の普及

とし、

交通死亡事故死者数を185人以下

とする」

旨の報告があった。

委員から、

「ここに示した施策を全てやり切り、死亡事故の抑止に全力を注いでい
ただきたい」

旨の発言があった。

(6) 警備部

ア 陸上自衛隊第10師団との共同実動訓練の実施

警備部長から、

「1月20日(水)、航空自衛隊岐阜基地において、愛知県警察、岐阜県警察、陸上自衛隊第10師団が共同実動訓練を実施する」

旨の報告があった。

委員から、

「このような共同実動訓練は、過去に何回も実施しているのか」

旨の質問があり、

警備部長から、

「今回で8回目となる」

旨の説明があった。

イ 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成27年12月中及び平成27年中）

警備部長から、平成27年12月中及び平成27年中の行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可について、

「平成27年12月中、9件の許可申請を受理して、許可した。また、平成27年1年間では、235件の許可申請があり、すべてを許可した。

なお、前年対比では36件増加した」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 苦情及び公安委員会宛文書等の受理（22件）

公安委員会執務官から、

1月12日までに届いた公安委員会宛の文書等22件

について報告があり、公安委員会は「警察署員の対応に関する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 激励の上申（2件）

公安委員会執務官から、
名古屋市中川区における殺人事件捜査本部
半田市内における殺人・放火事件捜査本部
に対する激励の上申があり、決裁した。

(3) 愛知県監査委員事務局による随時監査の結果

監査官から、
愛知県監査委員事務局による随時監査の結果
について報告があった。

(4) 犯罪被害者給付金等支給裁定

住民サービス課長から、
遺族給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(6) 平成27年度秋の業務監察実施結果

首席監察官から、
平成27年度秋の業務監察実施結果
について報告があった。

(7) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施について、

「平成27年12月中は、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、面会等要求、連続電話、押し掛け等を理由に44件の警告を実施した」旨の報告があった。

委員から、

「多数の事案に適切に対応されている。今後も大きな被害につながらないよう対処していただきたい」旨の発言があった。

(8) 愛知県暴力団排除条例による勧告

組織犯罪対策課長から、

「愛知県暴力団排除条例第25条の規定により、勧告を実施する」旨の報告があり、決裁した。

(9) 拡声機による暴騒音の規制に関する条例の一部改正

警備総務課長から、

「『拡声機による暴騒音の規制に関する条例』の改正を実施する」旨の説明があり、決裁した。

(10) 警察職員の援助派遣

警備課長から、警察職員の援助派遣について、

「沖縄県公安委員会から、警戒警備のため、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、必要な警察職員を派遣する。

また、福井県公安委員会から、警戒警備のため援助要求がなされる見込みである」

旨の報告があった。

(11) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 65件
 風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 3件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年 1月22日 8時55分～12時45分

出席委員：天谷委員長・入谷委員・小澤委員・中西委員・立花委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	2月の行事予定	警務部	本 部 長 総務部 長 警務部 長 生活安全部 長
2	平成27年年間実績の検証		
3	報告 生活安全部における主要事件の検挙	生活安全部	地 域 部 長 刑事部 長 交通部 長
4	組織窃盗グループ壊滅プロジェクト実施結果（1年経過）	刑事部	警 備 部 長 名古屋市警察部 長 情報通信部 長
5	交通死亡事故抑止月間の実施	交通部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	報告 警察署長会議の開催結果	総務部	総 務 課 長
2	決裁 公安委員会宛文書等の受理（3件）		公 安 委 員 会 執 務 官
3	決裁 苦情の調査結果	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
4	決裁 自己情報開示請求に係る開示決定及び一部開示決定に対する審査請求及び愛知県個人情報保護審議会への諮問		
5	報告 監察案件		
6	決裁 風営適正化法に係る審査基準・処分基準の改定	生活安全部	保 安 課 長
7	決裁 暴対法に基づく再発防止命令の発出に係る意見聴取の実施について	刑事部	組 織 犯 罪 対 策 課 長
8	決裁 新東名高速道路供用開始に伴う職権行使に係る協定の改正	交通部	高 速 道 路 交 通 警 察 隊 長
9	報告 愛知県が上程予定の条例について	警備部	サ ミ ッ ト 対 策 課 長
10	決定 聴聞等の実施結果・決定 67件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

ア 2月の行事予定

警務部長から、2月の行事予定について、

「県警強調業務は、
窃盗犯捜査活動の強化
交通死亡事故の抑止

で、各部強調業務は、
告訴・告発事件捜査活動及び知能犯情報収集活動の強化
犯罪手口資料の作成及び活用の強化
実態把握活動の強化

である」

旨の報告があった。

イ 平成27年年間実績の検証

関係部長から、平成27年年間実績の検証として、

犯罪の抑止
交通死亡事故の抑止
暴力団の壊滅

の取組結果について報告があった。

(2) 生活安全部

生活安全部における主要事件の検挙

生活安全部長から、

カジノ店の摘発による賭博開張図利及び賭博被疑者の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「長期にわたる内偵捜査などの苦勞が実り、良い事件を検挙された」
旨の発言があった。

(3) 刑事部

組織窃盗グループ壊滅プロジェクト実施結果（1年経過）

刑事部長から、
発足から1年が経過した組織窃盗グループ壊滅プロジェクトの実施結果
について報告があった。

(4) 交通部

交通死亡事故抑止月間の実施

交通部長から、交通死亡事故抑止月間の実施について、
「2月1日(月)から29日(月)までの間を交通死亡事故抑止月間と定め、
特に『高齢者を守る』意識を高める交通安全教育や交通指導取締りを強化
するなどして、交通死亡事故の抑止を図る」
旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 警察署長会議の開催結果

総務課長から、警察署長会議の開催結果について、
「1月19日(火)午後、警察本部講堂において、警察署長会議が開催さ
れた。

愛知県知事、名古屋地方検察庁検事正、愛知県公安委員会委員長の来賓
挨拶に続き、本部長から、最重要課題である
伊勢志摩サミット警備の万全

暴力団の壊滅
交通事故事故の抑止
犯罪の抑止

等についての訓示があり、その後、各部長等から具体的推進方策に関する指示が行われた」旨の報告があった。

(2) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、
1月18日までに届いた公安委員会宛の文書等3件
について報告があり、決裁した。

(3) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「事案対応、犯罪捜査等に関する苦情」について調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明があり、審議し、原案どおり決裁した。

(4) 自己情報開示請求に係る開示決定及び一部開示決定に対する審査請求及び愛知県個人情報保護審議会への諮問

住民サービス課長から、
「愛知県公安委員会に対し、行政文書の開示決定処分及び一部開示決定処分に対する審査請求がなされたことから、愛知県個人情報保護条例第43条の規定に基づき、愛知県個人情報保護審議会に諮問するとともに、諮問した旨を申立人に通知する」旨の説明及び諮問文案等の提示があり、決裁した。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(6) 風営適正化法に係る審査基準・処分基準の改訂

保安課長から、
「風営適正化法の改正に伴い、警察庁から改訂した審査基準及び処分基準のモデルが示達されたため、愛知県の審査基準及び処分基準を改定する」
旨の説明があり、決裁した。

(7) 暴対法に基づく再発防止命令の発出に係る意見聴取の実施について

組織犯罪対策課長から、
「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第11条第2項に規定する暴力的要求行為に対する再発防止命令に係る意見聴取を開催する」
旨の報告があり、決裁した。

(8) 新東名高速道路供用開始に伴う職権行使に係る協定の改正

高速道路交通警察隊長から、
「2月13日に新東名高速道路『浜松いなさJCT～豊田東JCT』間の供用が開始されることに伴い、愛知県警察と静岡県警察の管轄区域外における職権行使の範囲を見直し、協定を改正する」
旨の説明があり、決裁した。

(9) 愛知県が上程予定の条例について

サミット対策課長から、
愛知県が上程予定の条例
について報告があった。

(10) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 64件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 3件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年 1月29日 10時00分～12時45分

出席委員：天谷委員長・入谷委員・小澤委員・中西委員・立花委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成27年中の警察署協議会運営状況等	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	情報公開及び自己情報の開示請求等の状況（平成27年中）	警務部	
3	警察安全相談等及び苦情の取扱状況（平成27年中）		
4	防犯ボランティア活性化フォーラムの開催	生活安全部	
5	「非行防止シンポジウムあいち2016」の開催～有害環境を浄化する「No! JKビジネス」～		
6	平成27年中における不正送金の状況		
7	主要事件の検挙	刑事部	
8	交通安全教育コンクールの実施	交通部	
9	運転経歴証明書提示によるタクシー運賃割引の実施		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	報告 被疑者取調べ監督の実施状況（平成27年中）	総務部	総 務 課 長
2	決裁 苦情及び公安委員会宛文書等の受理（5件）		公 安 委 員 会 執 務 官
3	決裁 激励の上申		
4	決裁 苦情の調査結果	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
5	決裁 行政訴訟の発生及び応訴		訟 務 官
6	報告 交通事故統計外の事故等（平成27年第4四半期）	交通部	交 通 総 務 課 長
7	決裁 愛知県道路交通法施行細則の一部改正（高さ指定道路の追加）		交 通 規 制 課 長
8	決裁 優良指定自動車教習所表彰の実施		運 転 免 許 課 長
9	報告 警察職員の援助派遣	警備部	公 安 第 二 課 長
10	決定 聴聞等の実施結果・決定 43件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

平成27年中の警察署協議会運営状況等

総務部長から、平成27年中の警察署協議会運営状況等について、

「定例会は、各警察署ともおおむね四半期に1回開催した。今後も制度の趣旨に則った運営を行う」
旨の報告があった。

委員から、

「警察署協議会は、地域との連携をとる上で重要な制度であるので、更に活発な活動ができるよう努めていただきたい」
旨の発言があった。

(2) 警務部

ア 情報公開及び自己情報の開示請求等の状況（平成27年中）

警務部長から、平成27年中の情報公開及び自己情報の開示請求等の状況について、

「情報公開の開示請求件数は、公安委員会宛が1件で、警察本部長宛が318件であった。

自己情報の開示請求件数は、公安委員会宛が6件で、警察本部長宛が371件であった」

旨の報告があった。

イ 警察安全相談及び苦情の取扱状況（平成27年中）

警務部長から、平成27年中の警察安全相談等及び苦情の取扱状況について、

「警察安全相談等の取扱件数は108,234件で、平成26年中に比べ5,747件、5.6パーセント増加した。

公安委員会宛苦情の受理件数は38件、警察宛苦情の受理件数は139件であった」
旨の報告があった。

委員から、

「警察が身近な相談機関として機能していると考えられるので、今後
も適切に対応されたい」
旨の発言があった。

(3) 生活安全部

ア 防犯ボランティア活性化フォーラムの開催

生活安全部長から、

「防犯ボランティア団体の課題を洗い出し、解決策を見いだすことで、
団体自体やこれを支援する行政、警察がそれぞれ取り組むべき方向性を
考える機会として、2月9日（火）午後1時30分から、東区のウィルあ
いちにおいて、防犯ボランティア活性化フォーラムを開催する」
旨の報告があった。

イ 「非行防止シンポジウムあいち2016」の開催～有害環境を浄化する「No！ JKビジネス」～

生活安全部長から

「関係機関等の関係者が一堂に会し、少年の非行問題に関する理解等
を図り、非行少年を生まない社会づくりの基盤形成に資することを目的
として、2月4日（木）午後1時から、東区のウィルあいちにおいて、
『非行防止シンポジウムあいち2016』を開催する。」
旨の報告があった。

ウ 平成27年中における不正送金の状況

生活安全部長から、平成27年中における不正送金の状況について、
「発生件数は52件で、平成26年中に比べ69件減少した。被害額は、約
2億140万円で、平成26年中に比べ2,030万円増加した」
旨の報告があった。

(4) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、
組織的自動車盗グループの検挙概要
について報告があった。

(5) 交通部

ア 交通安全教育コンクールの実施

交通部長から、
「各警察署の交通安全担当者の知識、技能の向上を図り、自治体等と
連携した効果的な交通教育を推進するため、自治体職員等も参加した、
寸劇、講話等による交通安全教育技能を競い合う交通安全教育コンクー
ルを、2月17日（水）午後1時30分から千種区文化小劇場において実施
する」
旨の報告があった。

イ 運転経歴証明書提示によるタクシー運賃割引の実施

交通部長から、
「高齢運転者による交通事故を抑止するため、運転免許証の自主返納
制度の周知に努めているが、免許返納後の移動手段の確保のため、愛知
県タクシー協会の協力で、1月21日（木）から、運転経歴証明書の提示
によるタクシー運賃の割引が実施されることとなった」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 被疑者取調べ監督の実施状況（平成27年中）

総務課長から、
平成27年中における被疑者取調べ監督の実施状況
について報告があった。

(2) 苦情及び公安委員会宛文書等の受理（5件）

公安委員会執務官から、
1月25日までに届いた公安委員会宛の文書等5件
について報告があり、公安委員会は「交通取締りの対応に関する申出」及び
「事案対応等に関する申出」の2件を警察法第79条に規定する苦情として受
理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(3) 激励の上申

公安委員会執務官から、
被害者親族になりすます損失補填金借用名下の特殊詐欺事件特別捜査本部
に対する激励の上申があり、決裁した。

(4) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「交通死亡事故に関する苦情」について調査結果の報告
及び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、審議し、原案どおり決裁した。

(5) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、行政訴訟の発生及び応訴について、
「愛知県公安委員会による放置違反金納付命令の取消しを求め、平成27年12月16日、名古屋地方裁判所に提訴がなされたため、応訴したい」旨の報告及び説明があり、決裁した。

(6) 交通事故統計外の事故等（平成27年第4四半期）

交通総務課長から、
平成27年第4四半期における交通事故統計外の事故等について報告があった。

(7) 愛知県道路交通法施行細則の一部改正（高さ指定道路の追加）

交通規制課長から、愛知県道路交通法施行細則の一部改正について、
「第二東海自動車道横浜名古屋線（新東名高速道路）の供用開始に伴い、静岡県境から豊田東ジャンクションまでの間を、高さ指定道路に追加指定するほか、路線名の表記を変更する」旨の説明があり、決裁した。

(8) 優良指定自動車教習所表彰の実施

運転免許課長から、優良指定自動車教習所表彰の実施について、
「業務が優秀であった指定自動車教習所を表彰することにより、教習の水準の向上と士気の高揚を図り、交通事故の防止に資するため、優良指定自動車教習所表彰を行う」旨の報告があり、決裁した。

(9) 警察職員の援助派遣

公安第二課長から、警察職員の援助派遣について、

「岩手県公安委員会から、治安警備のため、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、必要な警察職員を派遣する」旨の報告があった。

(10) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 43件
について報告があり、行政処分を決定した。